

令和5年度富谷市立日吉台小学校 学校関係者評価書

令和6年 2月26日

学校関係者評価委員会

氏名

氏名

氏名

1 総評

(1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

○「支持的風土を持った学級集団をつくり、協働的な学びを推進する」

- ・知識や学びへの意欲、お互いを認め合い思いやりの心を養うことを目指して、子供たちが主体的に行動し、深く学べる授業の推進を図り、思考力を育てる教育がなされていた。
- ・コロナが5類へ移行したこともあり、学習場面では、机の配置を工夫しながらグループごとの話し合いや子供同士の教え合いが積極的に取り入れられており、学び合いを基本とした授業が全クラスで行われていた。理解が難しく、学びきれない子供たちへの対応にも向き合って指導している。支え合うことの大切さが養われたと思う。
- ・校内研究では、「やってみたい」「伝え合いたい」「じっくり考えたい」と子供たちが思える授業づくりを主題とし、目指す児童像を子供の成長過程や特別支援の必要に合わせて具体的に提示しながら、授業を重ねる中で、先生同士で指導を振り返り、改善に向けての学び合いが継続して行われていた。
- ・学級単位で工夫を凝らした授業の実践で、熱意と信念が感じられ、先生方の強い意志に感動した。

(2) 成果について

- ・「教え合い」「語り合い」「認め合い」では、学び合いのある充実した授業プランで、成果があったと思う。子供たちの笑顔と元気な挨拶で、学級づくりがうまくいき、仲の良さが目についたことから、いじめは無いと感じた。
- ・授業の様子を見て、一所懸命取り組もうとする姿が意欲的であると感じた。
- ・グループ学習の場面では、お互いの話をよく聞き、積極的に発言する場面が多く見られた。また「周りで困っている人にヒントをあげて」との先生の呼びかけに応じて、どこが分からないか優しく聞きながら、教え合い学び合う姿が見受けられ、着実に学び合い学習が子供たちに身に付いていると感じた。
- ・人の話を聞く、自分の意見を話せることは互いを尊重することにつながり、人間関係に大きく貢献していると感じた。心を育む教育として、思いやりのある児童が育っている。

(3) 課題や改善を要する事項について

- ・保護者アンケートの回答率が30%と低く、残念に思う。学校任せにならないよう、保護者の方も関心をもってほしい。連携を大切にして、改善策を共有することで、保護者の意識を高めていくことが大切だと思う。
- ・昨年より「一人一人に応じたきめ細かな指導」の下げ幅が大きかったが、学校では学び合い

学習や個別指導にて、きめ細かい指導を実践しており、保護者も実感できるような取り組み方や発信の仕方を工夫してほしい。

- ・「子供たちの実態を把握し、分かりやすい授業を工夫していますか」について低い評価があったが、協働的な学び合いの授業の工夫や、教科担任制による授業の充実など、基礎学力向上や個々の学力に応じた指導がしっかり行われている。このようなすばらしい取組が保護者に伝わるような周知の仕方を考えてもらえればと思う。
- ・金管バンドの指導に外部講師を導入する等、改善が見られており、今年度は東北大会へも出場することができた。また先生方も土曜日に交代で出勤され、全職員での取り組みがなされているとお聞きし、富谷市の特色ある活動なので、今後も継続して行って欲しい。
- ・挨拶は心の教育。豊かな心を育てていくためにも、地域の方にも元気に挨拶できるような子供になってほしい。

2 各領域等の評価

○ 評価は、A：十分に達成している B：概ね達成している C：どちらかといえば達成していない D：ほとんど達成していない の4段階でお付けください。

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全校での運動会や学習発表会が4年ぶりに開催され、家族や地域の方が入場制限なく観覧でき、感動と笑顔にあふれていた。 ・ホームページや学校ブログを通して学校の様子を手に取るように知ることができた。 ・学校だよりには行事予定表も記載されており、楽しみにしている地域の方も多し。町内会でも回覧され、情報発信に役立っている。
	2 魅力ある学校	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが学ぶことの楽しさを知り、できる喜びを感じることができる学校へ、教職員が一丸となって実践して、より良い学校に作り上げていこうという思いが伝わる。 ・授業参観では、どのクラスでも生き生きと学ぶ姿を拝見することができ、学校そのものが子供たちにとって楽しい場所であることを実感できた。 ・子供たちの自主性を尊重しており、学校行事では子供同士の関わりを積極的に作り出し、高学年は主体的に活動している。たてわり活動は互いを尊重し合い協力できる体制になっており、協調性もできてきている。
	3 施設・設備	A	<ul style="list-style-type: none"> ・階段の隅々まできれいに掃除されており、教室内や廊下も整理整頓されていて気持ちがいい。学ぶ体制ができています。 ・ICTの活用やタブレット学習が一般的となったため、コンピュータールームをイン

			<p>グリッシュールームに変更するなど、時代の流れや教育課程に合わせて整備している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機器の導入で、子供たちが学びやすい環境が整っている。 ・校舎も20年以上になると、所々色あせてきている部分も目立つようになった。
	4 安全管理	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域を巻き込みながら、朝の街頭指導に継続して取り組んでいる。 ・防犯カメラが設置されたことにより、子供たちのさらなる安全が確保された。 ・交通安全指導を強化したおかげで、子供たちが安全に登下校できている。 ・避難訓練、研修などを実施しており、家庭や地域と連携していく。災害時における対応についても確認し合い、意識を高めていただきたい。
	5 教職員の資質の向上	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究にて、「一人一授業」を実施し、先生方の学び合いを通じて、教育の資質向上が図られている。 ・常に課題意識を持ち、それに取り組む姿勢がすばらしい。 ・タブレットや電子黒板等、ICT機器の活用をスムーズに全教室で実施しており、先生方の努力を実感した。 ・職員同士の話し合いも必要になり、情報交換をしていくことも大事。学び合いを基本とした授業ができるよう、工夫を凝らした授業を進めてほしい。
	6 特色ある教育活動等	A	<ul style="list-style-type: none"> ・一貫した教育活動を展開するための「日吉台スタンダード」が定着しており、授業中の姿勢の良さ、すっきりした机の上、分かりやすいノートの取り方に感心した。 ・運動会や学習発表会で金管バンドが演奏する姿を4年ぶりに学校で見ることができ、大変感動した。富谷市ならではの取組を継続し、たくさんの子供に音楽の楽しさを知ってほしいと感じた。 ・地域の夏祭りが4年ぶりに行われ、日吉小の5・6年生が「南中ソーラン」を披露して地域の方々と交流ができた。 ・地域の方の協力で、稲刈りや川柳教室などの出前講座で、外部講師を活用し、授業で

			<p>は体験できない学習を行うことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子黒板やタブレットを使用しての授業を積極的に取り入れ、活用するとよい。教師はサポート側になり、子供たちの持っている力を引き出してあげることが大切。
教育課程	1 確かな学力	B	<ul style="list-style-type: none"> 学び合い学習では、分かる子供も困っている子供に教えることで、自分の学びを確かなものにしていく。 教科担任制の導入の他、子供の理解度に合わせて先生との1対1学習も行い、一人一人の学力に合わせた指導が行われている。 協働的な学び合い学習により、子供たちが意欲的に自信をもって取り組んでいることを、保護者が子供から感じ取ってほしい。 家庭学習の習慣化のためにも、親が子供に目をかけてやることで、学力アップにつながる。
	2 豊かな心身	A	<ul style="list-style-type: none"> 学び合い学習では、分からない子供を置きざりにすることなく、「困っている人には手を差し伸べよう」という精神が根付いており、学習面だけでなく豊かな心も育まれていると感じた。 当たり前のことができる子供たちを育てていくことが大事なことで、まず元気に挨拶ができる子になってほしい。 学校行事が再開され、子供たちの笑顔と元気な姿が目についた。
	3 特別活動	A	<ul style="list-style-type: none"> 校外学習や修学旅行を通じて、学校内では経験できない学びを提供していた 全校運動会や学習発表会、長縄大会などが実施され、子供たちのあふれる笑顔や真剣に取り組む表情に感動した。 子供たちの自主性を重んじ、一人一人が主役になれるよう内容も工夫されていた。
	4 生徒指導・教育相談	A	<ul style="list-style-type: none"> 子供同士の小さいからかいやふざけがエスカレートしていじめ等につながらないように、学校全体で取り組んでいる。 スクールカウンセラーを活用しながら、子供の心理的変化等に対応している。
	5 特色ある教育活動等	A	<ul style="list-style-type: none"> 子供会組織のリサイクル活動で触れ合いができて良かった。 縦割り活動やひまわり児童会を通じて、異年齢の交流が積極的に行われている。 児童会主催のひまわりフェスティバルでは

			<p>3 学年以上の各クラスが遊びのコーナーを自分たちで企画し、全校で楽しんでいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代間の交流は今後も継続していただき、子供たちの成長を見守ってほしい。
課題教育	1 環境教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全校での清掃活動や整理整頓が行き届いており学習に集中できる環境が整っている。 ・外部講師を活用しながら、「ゆめの森」での活動や温暖化についてなど、環境について学ぶ機会を設けている。 ・家庭や地域を含め、リサイクル活動や省エネ対策について積極的に取り組んでいる。
	2 情報教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化社会で、子供たち同士が情報を共有できるタブレットの活用がよくできている ・タブレットや携帯電話の普及に伴い、長時間使用したり、情報に惑わされてしまったりする弊害もあるため、学校でも使い方やその目的を明確にするなど、情報教育に取り組んでいる。 ・携帯電話を持つ子供たちが増え、グループラインでのやりとりなどから他のトラブルに巻き込まれないよう、正しい使い方を専門の方からお話をしてもらおう機会を設けることも勉強になると思う。 ・家庭でのアドバイスも適切にお願いしたい。
	3 特別支援教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育はどの子供にも当てはまるという信念を持ち、誰でも分かる指導を学校教育の柱と位置づけ、しっかりと、丁寧に取り組んでいる。 ・特別支援学級で、障害や個々の特性に応じた対応がなされていた。 ・発達障害への対応が的確になされており、生きる力の育成と自立への基礎作りもしっかりとされている。 ・特別に配慮する児童に合った指導は、保護者と共通理解しながら進めていくことが大事だと思う。
	4 図書館教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室は使いやすく整備されており、本に親しみやすい環境が整えられている。週2回の読書タイムでは、じっくり落ち着いて本を読む習慣が身に付いている。
	5 健康教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「るるぶる」の推進を学校では継続して取り組んでおり、保護者への更なる啓発活動をお願いしたい。 ・感染症対策は、体調管理などが十分に行われている。 ・規則正しい生活は健康にも影響してくる。

	6 特色ある教育活動等	A	<p>健康的な生活を親子で心掛けてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育指導など家庭での生活習慣指導を強化していくことが大事。朝夕の食事をきちんと食べることなど、各家庭で食の見直しについて話し合ってもらいたい。 ・6年生の総合学習の一環として、イオン富谷店とコラボし、「富谷市未来提案」の発表会が行われ、子供たちの生き生きとした姿を見ることができた。他の学年でも積極的に取り組んでほしい。 ・子供会へ入会することが減少しているが、学校では体験できないような子供たちと親同士の交流もあり、学年関係なく仲良くなれる場所なので、積極的に参加してほしい ・金管バンドの活動で日頃の練習に携わっていただいている先生方に感謝している。 ・「川柳教室」を2回にわたって実施できたことは、子供たちが言葉の楽しさ、大切さを知る機会になった。
地域との連携について		A	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師の活用や地域との連携をとることができよかった。 ・町内会行事にも4年ぶりに参加することができ、地域の一員としての自覚や周囲に役立っている実感を高めることができた。 ・地域との連携した活動で、子供たちが成長できる。 ・コロナ禍の影響もあり、気軽に学校と地域が交流するという状況は難しいが、地域をさらに巻き込んだあいさつ運動の活用等を通じて、「子供たちを地域で育てる」「子供たちの安全を地域で守る」といった連携が再びできると良い。 ・地域とのつながりは積極的に継続してほしい。世代間をつないでいく地域との交流は今後も必要なので大切にしてほしい。
いじめ問題への取り組み		A	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちには毎月、保護者へは年2回、定期的にいじめに関するアンケートを実施し、いじめ認知会で課題を共有し対策を考えるなど、積極的に取り組んでいる。 ・家庭での子供の変化に気付くことも保護者として大切なことなので、学校と情報交換を密にする必要があると思う。